

インターンシップ実施後の手続等について

※ インターンシップ（就業体験）で単位の修得を希望する学生は、
下記の手続を行ってください。

《 インターンシップ（学外実習）終了後の手続 》

1. 「インターンシップ報告書」（様式は下記参照）を、各学科・専攻のインターンシップ担当教員に提出してください。
「インターンシップ報告書」の提出期限は、各学科・専攻のインターンシップ担当教員へお尋ねください。
- ↓
2. 学科・専攻ごとに「インターンシップ実施報告会」が行われ、その結果が評価され単位として認定されます。
「インターンシップ実施報告会」の開催日程は、各学科・専攻の学外実習担当教員へお尋ねください。

☆ 平成28年度 学外実習担当教員 ☆

機械工学科・機械工学専攻：清水年美教員

生体分子工学科・物質工学専攻（生体分子機能コース）：熊沢紀之教員

マテリアル工学科・物質工学専攻（マテリアル工学コース）：岩瀬謙二教員

電気電子工学科・電気電子工学専攻：金谷範一教員

メディア通信工学科・メディア通信工学専攻：中村真毅教員

情報工学科・情報工学専攻：上田賀一教員

都市システム工学科・都市システム工学専攻：原田隆郎教員

知能システム工学科（Aコース）：中村雅史教員，Bコース：星野修教員

知能システム工学専攻：（主）星野修教員・（副）中村雅史教員

量子線科学専攻：西野創一郎教員

【様式】

平成〇〇年度インターンシップ報告書
「インターンシップの実習テーマ」

〇〇〇学科・〇年次・〇〇T〇〇〇〇△・学生氏名

実習先 株式会社〇〇〇〇 □□□□事業部
〒316-1111 茨城県〇〇市〇〇町 1-1-1 □□□ビル 3階

実習期間 平成〇〇年〇〇月〇〇日～〇〇月〇〇日（〇〇日間）

1. 実習目的
2. 実習内容
3. 感想・まとめ
4. 後輩へのメッセージ
(今後のインターンシップ実施学生へ向けて参考になる情報を書いてください。)

※報告書作成における注意事項

1. 報告書の形式
 - ・用紙：A4判、1～2頁
 - ・余白：上下左右2cm
 - ・タイトル書体：14ポイント太字体
 - ・本文書体：10～11ポイント細字体
 - ・本文の段組は任意
2. インターンシップ実施先の秘密にかかわることは記載しないように注意してください。
3. 報告書は、一冊の報告集にまとめられます。
提出されたものは原本になるので、以下の点に注意して作成してください。
 - ・ページ番号は記載しない。
どうしても入れる場合は下部中央を避ける。
(報告集全体の通し番号を入れるため)
 - ・可能な限り、片面印刷にする。
(見開きレイアウト等は崩れる可能性があるため)

**報告書のテンプレートは、
工学部HPの「インターンシップ」からダ
ウンロードできます。
※学籍番号等が学部仕様となっている
ので大学院生は注意してください。**